

栃の木からの手紙

2025年 水無月 6月号



← (4月9日 李の木)

5日： 芒種

11日： 満月 旧 5月 16日

21日： 夏至

23日： 沖縄慰霊の日

25日： 新月 旧 6月 1日

【 春の農作業の進行状況 】

一般圃場

4月12日・・・秋播き小麦畑 追肥

芋畑 施肥

4月13日・・・ビート畑石灰 施肥

・・・整地 ソイルクランブラ

4月14日・・・整地 ソイルクランブラ

4月21・23～26日・・・

J Aコントラ 芋・ビート畑 整地

4月23日・・・芋畑2回目整地 逆転ロータリー

・・・ビート畑 すじ切

4月24日・・・食用芋播種開始

4月25・26日・・・小麦 麦踏み 鎮圧ローラー

4月26日・・・ビート畑 すじ切

4月28日・・・ビート移植開始

5月 7日・・・ビート移植完了

5月8・9日・・・澱粉芋播種完了

有機J A S畑

5月10日・・・心土破碎 サブソイラ

5月12日・・・整地 ロータリー

5月13日・・・デントコーン播種

5月14日・・・ひまわり播種

5月19日・・・赤ビーツ移植

5月27日・・・有機J A S年次現地審査

5月28日・・・赤ビーツ灌水（早魃の為）

こんな感じで春の播き付け作業が進んでいきます。

雪融け後、畑が乾いて畑に機械を入れられるのか？

人を入れての作業予定日に作業ができるのか？天気予報では降雨がこんな感じだが大丈夫なのか？

心配・不安だらけの春の播き付け作業。その後も直ぐに管理作業が始まります。



【 2025年 李（すもも）の木（花）の移り変わり 有機JAS畑 】

5月8日 一般圃場の播き付け作業完了



5月10日 心土破碎 サブソイラ



5月12日 整地 ロータリー



雪融けから1か月程。
桜の花は終盤を迎え李の木に
微かな色の変化を感じられる。
少し白っぽくなったかな？

昨年のデントコーンの残渣物が大量にすき込まれている畑。空気の土中の流れを良くして微生物を目覚めさせるために畑に溝を切って行く。排水性が良くなり空気も奥まで流れ込むみ、畑が乾き易くなる。



すももの黄緑色の蕾の先が白んで来た。クリーム色という感じはまだしない。

心土破碎で溝筋の付いている畑の土を表面のデントコーンの残渣物を細かくする様に、土中にすき込む様にゆっくりと高速回転で土を砕いて均して行く。それでも残渣物は、表面にごろごろしている。ロータリーの機械を掛けているにも拘らず10羽近いキジバトが畑に降り立っているのが確認できる。よっぽど近くまで行かないとなかなか逃げない。種を播いている訳でもないのにこれだけハトが集まってくるのはどういう事だろうか？



5月13日 デントコーン播種



雪印種苗のデントコーン（品種：エリオット）5万粒を3袋播種。1日掛かり。種は、土の中に埋まっているのでまさかハトには分るまい。

でも、何かを啄んでいる様だ。

5月16日 すもも 満開？



一昨年・昨年と李の花は5月5日に満開を迎えた。色合いも綺麗に見えていた。

でも、今年は何か変？ 満開の時にはボリュウム感のあるクリーム色に見えるのだが今年は違う。前年より寒いかもしれない。そして、突然の高温の連続。満開を飛び越えて緑の葉っぱが既に生育している。

今年の李の花は、1週間足らずで花が散り始めています。

花の数も少ない様で、地面が特別に白くなっているようには感じられない。

5月17日



5月18日 花は終り、黄緑色に見えています。

6月3日 機械除草



林は、10日程で緑のカーテンに閉ざされて奥を見通す事が出来なくなりました。

林の傍の畑では、鹿の足跡が見られる様になりました。この春は、柵を飛び越える鹿を目撃。